

R 7 価値語の取組について

研究主任

1. 本校が取り組む価値語とは・・・

子どもたちの考え方や行動をプラスに導くための言葉。また、広めたいと思う姿、良い姿、目指す姿を表した言葉

＊菊池省三先生の実践を参考に・・・

2. 価値語のねらい

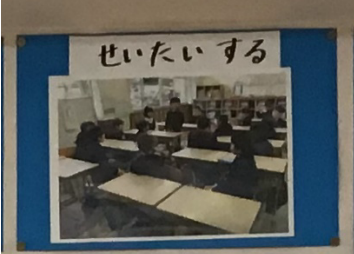
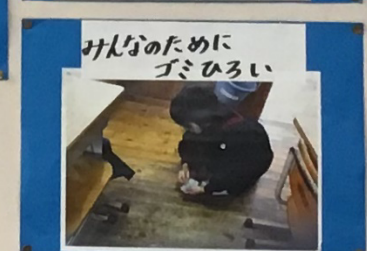
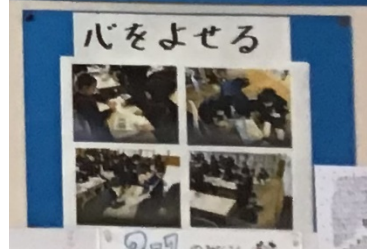
目標＝価値語を示すことにより、子どもたちの感化を促し、自発的な成長を目指す

(『発熱する教室』を創る8つの視点) 菊池省三・菊池道場 中村堂)

3. 取り組み方

- ①子どもの望ましい行動や広めたい行動、良い姿や目指す姿などを、言葉で可視化する。
- ②学級掲示や学年掲示をし、学級の価値語や学年の価値語として、児童と共有していく。
- ③1年間の見通しを持ち、計画的に価値語を増やし活用していく。
- ④ほめ言葉のシャワーや成長ノート、学年集会での話などでも活用し、それぞれの取り組みを関連させていくようにする。

4. 1年間の見通しの持ち方

時期	年度初め	年度中期	年度終わり
内容	- 学級全体に共通させたい重要な行為 - 生活や学習規律、学年で共有したい姿	- 非言語の良さや友だち関係の美しさ - 行事に関連して - 心情、内面 など	1年間の成長を振り返って(成長を実感) (次年度に向かう)
	4月 → 3月 規律 生き方		
例	 	 	＊資料① 参照

資料① 価値語を使った振り返り



5. 価値語の例 (学級掲示の例)

